

## 治山対策の推進（平成31年度予算概算要求の概要）

概算要求額：72,878百万円（59,736百万円）

## 災害の多様化・激甚化

## ○豪雨災害



H30年7月豪雨

- ・近年、集中豪雨が頻発し、激甚な山地災害が発生
- ・今後も、地球温暖化による、山地災害発生リスクの上昇が予測される

## ○流木災害



H29年九州北部豪雨

- ・平成28年台風第10号や、平成29年九州北部豪雨等において、流木災害が発生
- ・度重なる豪雨や立木の大型化に伴い流木による被害が甚大となる傾向

## ○火山・山火事災害



H26年 御嶽山火山噴火

- ・火山噴火が頻発し、火砕流による森林の焼失や火山性ガスによる立木の枯損など大面積の森林に被害が発生

- ・山火事発生数は減少傾向にあるが、近年も大規模な森林の焼失が発生

## ○地すべり災害



H30年 大分県中津市

- ・毎年大規模な地すべりによる被害が発生
- ・平成30年4月にも大分県で地すべり災害が発生

## 平成31年度予算概算要求の重点施策

## ○流域を一体とした流木対策の推進



- ・発生区域から堆積区域までの対策を一体的に実施し、緊急点検で明らかとなった流木対策が必要な1200地区を中心に流木対策を加速化
- ・新たに以下の対策が実施可能



流木捕捉式治山ダムに堆積した流木の除去や林外への搬出・処理



流木捕捉式治山ダムにかかる効果検証等の実証事業

○激甚な豪雨災害により発生した  
荒廃山地の復旧・予防対策の推進

荒廃山地の復旧・予防対策



広島県東広島市の被災状況

- ・治山ダムの設置等、荒廃山地の復旧・予防対策を推進
- ・激甚な災害が発生した地域において、民有林直轄治山事業に新規着手（広島県・岩手県）

## ○火山噴火・山火事対策の強化



異常堆積した火山灰土の排土



山火事により焼失した森林

- ・噴火リスクの高い火山地域において、既存施設の改良と併せて、治山ダムに異常堆積した火山灰土の排土や土石流センサーの設置等の緊急対策が可能
- ・火山噴火や山火事による大規模な森林焼失からの復旧を確実にを行うため、森林造成と一体的な治山ダム等の設置が可能

## ○地すべり対策の強化



地すべり災害の発生状況



水位・ひずみ計による調査

- ・再度災害防止のため、災害関連緊急地すべり防止事業と一体的に周辺被災箇所も含めた地すべり対策工事を集中的に実施
- ・概成した地すべり対策工の防止効果を確認するため、地下水位変化等の調査を実施し、再活動による被害拡大を未然に防止

# 流木災害への対応

- 近年、地震や集中豪雨等による激甚な山地災害が多発する中、流木災害が顕在化しており、対策の推進が必要
- 昨年の九州北部豪雨※等による流木災害の発生を受け、効果的な治山対策の在り方を検討するため、「流木災害等に対する治山対策検討チーム」を設置し、中間取りまとめを公表(平成29年11月)  
※平成29年7月5日～6日に、停滞した梅雨前線により九州北部地方にもたらされた記録的な大雨。福岡県及び大分県で、2,681か所、約355億円の林野関係被害が発生。
- 全国の山地災害が発生するおそれのある森林を対象に緊急点検を実施(平成29年12月)し、平成29年度補正予算から対策を開始

## 緊急点検・対策の内容 (約3年間 対策費:約600億円(事業費ベース))

- 全国の崩壊土砂流出危険地区等(約18万地区)について緊急点検を実施し、緊急的・集中的に流木対策が必要な地区として、約1,200地区を抽出
- これらの地区において、中間取りまとめを踏まえた以下の対策を実施
  - ・流木捕捉式治山ダムの設置
  - ・間伐等による根系等の発達促進
  - ・流木化する可能性の高い流路部の立木の伐採 等
- 平成29年度補正予算・平成30年度当初予算により、6割以上の着手を見込む



流木捕捉式治山ダムの設置



間伐等による根系等の発達促進



流木化する可能性の高い立木の伐採